

【安全・安心部会】第1回記録

地域の学校ではないので、地域の友だちがいない。だから居住地校交流や学校間交流はとてもよい取組だと思う。交流を通して、支援学校の子どもの存在を知ってもらいたい。地域の方にも知ってもらえることで、安全面等で気づいてもらえたり助けてもらえるかもしれないので、支援学校の存在を地域に知ってもらえる機会をつくってほしい。「ボランティア募集」の案内を、保護者全員に配付してもらえないか。協力できる人もいるはず。

→検討します。

2, 3年前に興除公民館の講座で、支援学校のことや障害特性についての内容をしたが、まだ理解は十分には進んでいない。地域の方への理解を進めなければいけないと思っていて、そういう面でも、販売活動やクラブ講座への参加は、理解が進むきっかけとなるはず。受け入れに関しては好意的なので、これからも進めてほしい。

コロナ以降、野菜の販売やバザーなどが保護者に制限されているので、販売数の問題もあるだろうが、地域にも広げて、販売を公にしてもらえると、もっと協力できることも出てくると思う。もっと地域に知らせていかないと協力ができない。

南支援学校が災害時の二次避難所になっていて、特に高齢の方や一人暮らしの方は、南支援学校への避難を希望されている。町内で避難所見学を考えている。その際は土日になると思うが、ぜひ協力してもらえるとありがたい。→協力できるところは協力させてもらうので、また計画が進むならご相談ください。

学校としては、避難訓練を地域の方も一緒にできたらと考えている。ただ、地域の方に集まってもらったところで、動きが定まっていなければ意味がないので、そこはこれから進めていかなければならない。

「災害が起きたら、我が子はどうなるのか？」ということは常に考えているので、地域と合同の避難訓練をしてもらえるととても心強く感じる。

障がい者理解の講座を来年度は計画したい。以前講座を行ったときに、南支援のコーディネーターの先生に来てもらって、南支援学校のことや障がい者理解についての講師をしてもらったので、その際は協力をお願いしたい。